



## Wileyとの契約機関に所属する論文著者が利用できるオープンアクセス契約

### Wileyのジャーナルで論文をオープンアクセス(OA)出版しましょう

WileyとのOA契約に参加する機関に所属する論文著者が、コレスポンディング・オーサーとしてWileyのハイブリッド誌(収録論文の閲覧のために購読契約を要するジャーナルのうち、著者が論文出版料金(APC)を支払って自分の論文をOA化するオプションを提供するもの)またはWileyのフルゴールドOA誌で論文を出版する場合\*、OA申請を行って所属機関から承認を受けることで、OA出版のために必要なAPCの自己負担が免除(または軽減\*)されます。(\* Wileyと各機関との契約内容および各機関の規定によります)

論文をOA出版するメリットについては、こちらをご覧ください。

- The benefits of publishing open access

#### 論文をOA出版することにより

- 研究助成団体や所属機関が定めるOAポリシーに準拠できます
- 著者が著作権を保持し、CCライセンスにより公開できます

## OA契約の利用資格

- 論文がアクセプトされた時点で、その論文の Responsible corresponding author（すべての共著者を代表して出版手続きを行う責任著者）が、[WileyとOA契約を結んだ機関のひとつ](#)に所属している必要があります。<sup>1</sup>
- 対象となる論文の種類は、原著論文またはレビュー（総説）です。<sup>2</sup>
- フルゴールドOA誌の場合は論文の投稿時に、またはハイブリッド誌の場合はアクセプト後に、下の「OA出版のための手続き」を参照して、必要な申請手続きを行ってください。
- 2023年1月1日または2025年1月1日（所属機関による）以降にアクセプト（ハイブリッド誌の場合）または投稿（フルゴールドOA誌の場合）された論文が対象です。<sup>3</sup>

## OA出版のための手続きガイド

- [How to publish in a Wiley hybrid open access journal \(Japanese\)](#)
- [How to publish in a Wiley fully open access journal \(Japanese\)](#)

## 問い合わせ

ご不明の点は、所属機関の図書館までお問い合わせ下さい。

<sup>1</sup> 論文がアクセプトされた時点で契約機関に所属していない場合は、OA契約を利用できません。

<sup>2</sup> これらに含まれないLetter to the Editor, Editorialなどは対象外となります。

<sup>3</sup> 所属機関によっては、ハイブリッド誌の論文のみが対象になります。